

イザヤ書46章10節

【新改訳2017】

わたしは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを昔から告げ、『わたしの計画は成就し、わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言う。

【新改訳改訂3】

わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』と言う。

【口語訳】

わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、『わたしの計りごとは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる』と。

【新共同訳】

わたしは初めから既に、先のことを告げ／まだ成らないことを、既に昔から約束しておいた。わたしの計画は必ず成り／わたしは望むことをすべて実行する。

神のマスタープランは必ず成就するということ

【新改訳2017】

わたしは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを昔から告げ、『わたしの計画は成就し、わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言う。

●「終わりの事」とは、神のマスタープランの最終ステージです。ここで驚かされるのは、神のマスタープランの最後に起こる出来事が、「初めから」告げられているのです。つまり、将来に起こることは、すでに最初から啓示されているという神の宣言です。将来に起こる事を悟るためには、それがすでに起こったことの中に隠された形で啓示されているとすれば、私たちは聖書をさらに詳しく調べ直さなければなりません。注意深く読み直さなければなりません。そして神のご計画の全貌を悟らなければならないのです。

●使徒パウロはエペソの教会を手塩にかけて建て上げる三年半の中で、多くの人々に、自分の身において起こった神の恵みの福音をいつもあかししていました。と同時に、神のご計画の全体を余すところなく教えていたのです(使徒20:27)。その神のご計画の全体こそ、イエシュアの語った「御国の福音」なのです。神の御子イエシュアが語り、そして行なった多くの奇蹟のすべては、まさにこの御国のデモンストレーションでした。

●神の語られたご計画は必ず成就するという視点から、それがどんな内容なのかを、私たちはありのままに知る必要があるのです。自分のために、あるいは自分の興味や関心のあるみことばだけを拾うようにして読むの

ではなく、神ご自身が関心をもっておられることに関心を持つべきです。そのためには、神のご計画の全貌を把握できるような読み方が求められます。今日のキリスト教会において、これは緊急の課題であると信じます。しかもこの課題の取り組みは決して容易ではありません。なぜなら、神ご自身のみこころを熱心に尋ね求める者にのみ、神はその全貌を示して下さるからです。ですから、イエシュアは「求めなさい(原語は「求め続けなさい」)。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。」(マタイ7:7)と語り、「神の国とその義とを第一に求め続けなさい。」(同6:33)と命じています。この取り組みには多くの集中した時間と瞑想が求められます。的外れなことをしている暇がないほどに緊急性のある今日的課題です。みことばを回復するこの課題にチャレンジすることなしに、どんなに多くの活動がなされていたとしても、教会は確実にいのちを失い、衰退する運命にあると言えます。